

# 文章題テスト・説明／論説(4)

月 日  
名 前

★ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

とても寒い朝、校門の前の道路がおおっていました。ちこくしそうだったひろしくんは、走ってきて、すってんころりん。これを見ていたしげるくんが、「超かっこわるい。」とはやしたてました。

例文の「超かっこわるい」は、ひろしくんをからかうために、しげるくんがわざとおもしろい言い方をしてみせたのでしょう。【ア】

最近の流行語として、「超きれい」「超こわい」「超おもしろい」などと、やたらに「超」をつけるのがはやっています。ものすごく、という意味で使っているようです。【イ】

給食のサラダにきれいなピーマンが入っていたときに、「超かなしい。」なんて、それほごたいしたことでもないのに、「超」ということばをつけていう人もいます。【ウ】

でも、本当は、「超」にこのような使い方はありません。【エ】

きまった言い方として、「超特急」「超高速」「超満員」「超音速」「超能力」「超党派」「超自然的」などがあります。

「超高速」は、とびきり速いということですね。「超音速」は、音速、音の速さを超える速さということですが、「超党派」は、それぞれの政党の範囲を超えて活動することです。「超自然的」は、「超自然的な現象」などと使い、自然には起こらないようなという意味です。また、一般に、とびきりという意味で、「超豪華」などと使うこともあります。流行語の「超きれい」「超おもしろい」などは、この使い方を応用したつもりなのでしょう。

でも、「超」ということばは、やたらに使うことばではないのです。「超かっこわるい」は、「すごくかっこわるい」もっていいねいに、「とてもかっこわるい」といえばいいのですから……。

(西本鶏介「まちがいだらけの言葉づかい」による)



